



## 京都に修学旅行に行ってきました!

11月24日(木)25日(金)、6年生が1泊2日の京都への修学旅行に行きました。新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年は三重県内を目的地としていたため、京都への修学旅行は3年ぶりになります。

1日目の最初の目的地は二条城です。うぐいす張りの廊下や大政奉還が行われた大広間などを見学しました。二の丸御殿の広さやふすま絵の立派さに「すごかった!」という声も聞かれました。二の丸庭園からはうぐいす張りの廊下の仕組みを下からのぞき込んで確認しました。次に、金閣(鹿苑寺)に向かいました。お天気にも恵まれ金閣がよりいっそう美しく輝いて見えました。秋の紅葉シーズンで、観光客も多く混雑をしていましたが、班ごとに金閣と池をバックに写真を撮ることもできました。



金閣の近くで昼食をいただいた後、次の目的地、銀閣(慈照寺)に向かいました。銀閣は金閣に比べ落ち着いた雰囲気と風情がありました。銀閣と白砂の庭園、赤や黄色に色づいた木々のコントラストがとても美しかったです。そして、1日目最後の目的地、清水寺です。

清水寺は紅葉の名所としても知られ、境内には1000本以上のモミジの木があるそうです。清水の舞台で知られる本堂からの眺めは、モミジが真っ赤に染まりそれは見事な景色でした。コロナ禍であるため音羽の滝の水を飲むことはできませんでしたが、本堂入り口にある鉄の下駄と錫杖(武蔵坊弁慶が使用していたと言われている)を見学し、錫杖を持ち上げるとご利益があると聞いて、なんとか持ち上げようと挑戦している子どもが何人もいました。また、清水の舞台を下から眺め、釘が一本も使われていないと聞いて驚く姿もありました。その後、子どもたちが楽しみにしていた清水坂での買い物です。観光客や修学旅行生で清水坂はすごい人出で、班別での行動がうまくできるかどうか心配でした。しかも、清水寺がライトアップを行っている関係か、夕方のなるにつれ人出は増える一方でした。しかし、子どもたちは迷子になったりはぐれたりせずに買い物を楽しみ、5分以上前には全員集合することができました。そして、5時過ぎには宿泊先の京都市内の旅館に到着しました。夕飯はハンバーグのひとり鍋などが付いた豪華版でした。ご飯のおかわりをする子どもも多く、40分ほどかけておいしくいただきました。食事の後は、お風呂に入ったり部屋でテレビを見たりしながらゆったりと旅館で過ごすことができました。子どもたちにとって楽しい旅館での夜となりました。





2日目は保津川下りに出かけました。バスで川下りの出発地の亀岡市に向かう途中、トンネルを抜けると窓の外は一面真っ白な霧に包まれ、びっくりしました。雨が降ったり川の水量が増したりすると運転中止になると聞いていましたが、無事に4隻の船に分かれて川下りに出発することができました。一つの船には3人ずつ船頭さんがいて、手漕ぎで保津川を亀岡市から嵐山まで16km、1時間40分ほどかけて下っていきます。船頭さんの説明を聞きながら、紅葉の景色を楽しんだり、カモやカワウなどの野鳥を間近で見たりして川下りを楽しみました。中でも急流を下るときは「キャー!!」と歓声が上がったり、水しぶきがかかったりして大いに盛り上がりました。あっという間の船旅でした。

嵐山に到着して、カレー鍋膳(カレーうどん)の昼食をいただきました。その後、嵐山での買い物です。今回、修学旅行でも「全国旅行支援」の恩恵を受け、旅行代金の8000円の割引と一人3000

円ずつのクーポン券をもらい、それもお小遣いとして利用しました。ただ、そのクーポンは1000円券3枚で、旅行日に京都でしか使えず、おつりが出ないものです。そのため、クーポン券を1日目にはうまく使えずに残したままの子どもが何人もいました。嵐山は、昨日の清水坂以上に入出が多く、歩道は観光客でごった返しており心配しましたが、嵐山での買い物でクーポン券も何とか使い切ることができたようです。どの子どもも満足そうにお土産を抱えてバスに戻ってきました。

そして、最後の目的地、ハッ橋庵しゅうやかたでハッ橋の手作り体験を行いました。生地にニッキや抹茶の粉を混ぜてこね、伸ばして四角くカットします。そこに餡を入れて、三角に折って出来上がりです。これもお土産として持ち帰りました。バスでの帰途は、渋滞に巻き込まれ、30分ほどおくれて到着しました。お迎えに来ていただいた保護者のみなさま ありがとうございます。

この二日間、6年生は、修学旅行の目的をしっかりと自覚し、四郷小学校の最高学年としてふさわしい行動をとることができました。日本の歴史や伝統文化への理解、友だちとの絆を深めることができた有意義な二日間となりました。



## 交通事故に注意！ 自分から「止まる」「見る」「確かめる」

四日市市内では、4月から10月までに60件ほどの小中学生の交通事故が発生しています。その中の多くが交差点での事故だそうです。本校の通学路においても危険な交差点がいくつか見られます。信号のない交差点はもちろん、信号のある交差点でも、いったん止まって、自分の目で右左を見て自動車がないことを確認してから横断するよう指導しています。特に日暮れが早いこの時期「車からは自分の存在に気づいていないかもしれない」ということもふまえ、自分から「止まる」「見る」「確かめる」ということを徹底するようご家庭でもご指導ください。

また、自転車乗車中の交通事故も多いようです。自転車に乗るときはヘルメットの着用や早目のライト点灯を心掛けましょう。